

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主 確定日	3月31日、9月30日 その他必要あるときは あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人および 特別口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel. 0120-232-711(フリーダイヤル) 東京証券取引所 札幌証券取引所 電子公告により行う (http://www.hokkanholdings.co.jp/)に 掲載いたします。ただし、事故その他やむを得 ない事由により電子公告をすることができな いときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所 公告方法	

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。

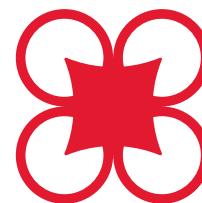
株主優待のお知らせ

毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された株主様に対し、当社グループの容器に入った缶詰を年1回、以下のとおり贈呈いたします。

贈呈基準

1,000株以上 5,000株未満	—— 2,000円相当の缶詰詰合せ
5,000株以上 10,000株未満	—— 3,000円相当の缶詰詰合せ
10,000株以上	—— 5,000円相当の缶詰詰合せ

ホッカホールディングス株式会社



HOKKAN HOLDINGS



株主の皆様へ

HOKKAN REPORT

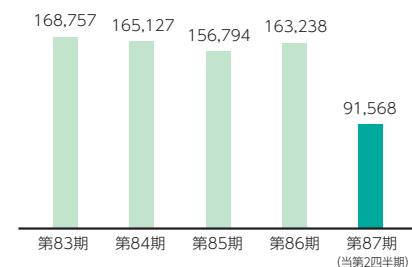
第87期上半期 株主通信 Vol.12
2011年4月1日～2011年9月30日

Financial Highlight

主要財務指標(連結)

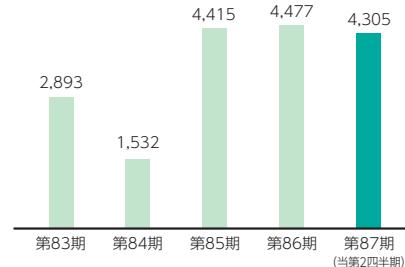
売上高

単位: 百万円



経常利益

単位: 百万円



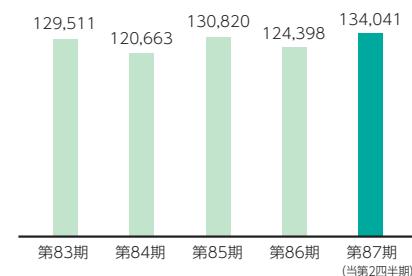
四半期(当期)純利益

単位: 百万円



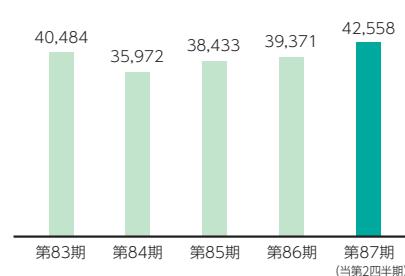
総資産

単位: 百万円



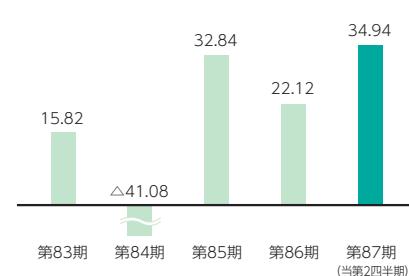
純資産

単位: 百万円



1株当たり四半期(当期)純利益

単位: 円



項目	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期(当第2四半期)
売上高 (単位: 百万円)	168,757	165,127	156,794	163,238	91,568
経常利益 (単位: 百万円)	2,893	1,532	4,415	4,477	4,305
四半期(当期)純利益 (単位: 百万円)	1,065	△2,764	2,209	1,488	2,350
総資産 (単位: 百万円)	129,511	120,663	130,820	124,398	134,041
純資産 (単位: 百万円)	40,484	35,972	38,433	39,371	42,558
1株当たり四半期(当期)純利益 (単位: 円)	15.82	△41.08	32.84	22.12	34.94

To Our Shareholders

株主の皆様へ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、第87期上半期(2011年4月1日から2011年9月30日まで)の営業の概況ならびに計算書類について、ご報告申し上げます。

当上半期の業績および営業概況

当上半期におけるわが国経済は、東日本大震災により大きく落ち込んだ生産や輸出については緩やかながら回復傾向にあるものの、電力供給の制約や原子力災害の影響、急速な円高の進行等により、景気の先行きは不透明感が強まる状況で推移いたしました。

このような情勢のなかで、当企業集団は業績の向上を目指し、各分野で努力してまいりました結果、当上半期の連結売上高は、915億68百万円(前年同期比1.9%増)となり、経常利益は43億5百万円(前年同期比5.0%減)、中間純利益は23億50百万円(前年同期比19.8%増)を計上いたしました。

当上半期の清涼飲料業界における状況につきましては、東日本大震災直後は製品不足に対する増産対応や、福島原発事故により発生した水道水への不安に対するミネラルウォーターの需要増加がありました。7月以降につきましては、過剰在庫や電力総量規制の実施等により、一部で生産調整が行われる状況となりました。

また、夏場の天候につきましては、前年より10日ほど早い梅雨明けとなりましたものの、昨年記録的猛暑には至らず、8月以降の需要は前年を割り込む状況で推



代表取締役会長

代表取締役社長

永井勝己 工藤常史

移いたしましたため、業界全体では前年並みの結果となりました。

カテゴリ別では、ミネラルウォーターが大きく伸び、また、果汁・紅茶飲料が好調に推移いたしました。スポーツ飲料やコーヒー飲料、炭酸飲料につきましては前年を下回る結果となりました。

食品缶詰業界につきましては、一部で東日本大震災による缶詰需要の増加がありましたものの、農産缶詰、水産缶詰ともに夏場の天候不順の影響により原料を確保できず、食品缶詰業界全体としては前年を下回る結果となりました。

なお、海外製品の輸入につきましては、国内の原料、資材の供給不足により、前年に比べ増加する結果となりました。

事業別の概況

容器事業

飲料用スチール空缶につきましては、主力の缶コーヒー分野の市場が低調に推移するなか、当社グループでは積極的な営業活動を進めてまいりましたものの前年割れの結果となり、飲料用スチール空缶全体では前年を下回る販売となりました。

食品缶詰用空缶につきましては、主要販売品目のうち農産缶詰は、主力のスイートコーン缶が天候不順の影響を受けるなど、農産缶詰全体においては前年を下回る実績となりました。また、水産缶詰につきましては、東日本大震災によりお客様の工場等が被害を受けるなどの影響がありましたものの、当社グループによる復興支援や代替充填先との調整をおこなってまいりました結果、水産缶詰全体では前年を上回る販売となりました。

以上の結果、食品缶詰用空缶全体では前年を上回る



販売となりました。

つぎにプラスチック容器では、飲料用ペットボトル分野におきまして、大型ペットボトル、小型ペットボトルともに東日本大震災直後より、キャップ不足によるお客様の充填調整が発生したことで、電力総量規制による生産調整の影響等により前年を下回る販売となりました。

一方、無菌充填用プリフォーム(ボトル成形前の中間製品)につきましては、順調に受注を伸ばしたため、前年を上回る販売となりました。

食品用ペットボトルにおきましては、醤油および食用油分野において消費低迷の影響を受けたことなどにより、食品用ペットボトル全体では前年を下回る販売となりました。

一般成形品および加工品につきましては、緊急援助物資としての水袋などの受注が増加したものの、化粧品関連製品が震災の影響等により減少となりましたため、一般成形品全体としては前年を下回る販売となりました。

エアゾール用空缶につきましては、自動車関連品や塗料用品、工業用品等が景気低迷の影響を受け減少となりましたものの、家庭用消臭剤の販売が大幅に増加したことや新製品の受注による販売増、夏場の殺虫剤需要の増加などにより、エアゾール用空缶全体では前年を大きく上回る販売となりました。

また、美術缶につきましては昨年同様、お客様による他の包材への移行が進むなど、業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、当社グループでは積極的な営業活動を進めてまいりました結果、美術缶全体では前年を上回る販売となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は、272億43百万円(前年同期比0.3%減)となりました。



充填事業

缶製品につきましては、4月以降順調に推移しておりましたが、7月、8月にお客様において在庫調整が実施された影響を受けたため受注が減少し、缶製品全体では前年を若干下回る販売となりました。

ペットボトル製品につきましては、アセプティック(無菌充填)を含む小型ペットボトル製品が、茶系飲料を中心に大型ペットボトル製品受注にシフトしたこと、夏場の天候が昨年夏の猛暑には至らず、8月以降、お客様による在庫調整も発生したため前年割れの結果となりました。しかしながら、大型ペットボトル製品では、新ラインの稼働に伴い麦茶の増産が寄与したため、前年を大きく上回る販売となり、ペットボトル製品全体では前年を上回る販売となりました。

以上の結果、充填事業全体の売上高は、634億70百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

機械製作事業

機械製作部門につきましては、金型やカタログ商品である液体小袋充填機が好調であり、また、缶コーヒー用蓋の増産設備の受注や小型ペットボトルの成形ライン改造工事の受注に加え、自動車用クラッチ板への摩

擦材貼り付け省力機械等も販売するなど、機械製作部門全体では堅調な受注結果となりました。

エンジニアリング部門におきましては、グループ内の安定的な受注の他、東日本大震災からの復旧工事等の受注などがありましたものの、前年を下回る実績となりました。

以上の結果、機械製作事業全体の売上高は、8億54百万円(前年同期比28.5%減)となりました。

下期へ向けて

下期の国内景気動向につきましては、欧州金融不安に伴う世界経済の減速に加え、タイ国における洪水被害の影響等により今後下振れが懸念されるものの、緩やかながら持ち直し傾向が続くものと思われま

す。このような状況のなかで、当企業集団では、本年4月より新中期経営計画(5ヵ年計画)「ACTIVE-5」をスタートさせました。この「ACTIVE-5」では、既存事業で経営基盤をしっかりと支え、そして、新規事業・海外事業展開への取組みを成長のエンジンとしていくことを明確にしており、その一環といたしまして、本年7月にインドネシアにおける合弁会社を設立いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

なお、通期の連結業績は売上高1,660億円、経常利益45億円、当期純利益22億円を見込んでおります。

以上ご報告のとおりでございますので、中間配当金につきましては、1株につき3円75銭とし、平成23年12月12日にお支払いすることいたしました。

ホッカンホールディングスは グループ事業会社全体の力を統合し、 さらに高いレベルの「ものづくり力」を追求します。

当社は持株会社として、各事業を強化するとともに、グループ企業とのアライアンスの発展を図ってまいります。そして、“最大より最高”をモットーに、品質と価格の両面を併せ持つ「ものづくり力」を高めてまいります。

機械製作

北海製罐株式会社や株式会社日本キャンパックで使用する超精密度の金型から製造機械、総合一般の製造ラインまで提供する機械メーカーです。

オーエスマシナリー株式会社

「オーエスプレシジョンオレンジ」は、超精密度を追求する同社の各種金型と各種製造機械の安全性を表しています。

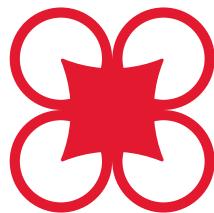
容器製造／販売

食品用、飲料用などの空缶、ペットボトルなどのプラスチック容器の開発、生産、販売など幅広くおこなっています。

北海製罐株式会社

昭和製器株式会社
 日東製器株式会社
 東都成型株式会社
 ホッカン インドネシア

「ホッカンエバーグリーン」は、同社のルーツである北海道の大地を象徴する緑、永遠の若さ、生命力を表しています。



HOKKAN HOLDINGS

充填

大手ブランドの飲料を空缶やペットボトルに充填する受託充填企業です。調合から物流までを請け負う総合力を持っています。

株式会社日本キャンパック

株式会社西日本キャンパック
 日本キャンパック・マレーシア
 キアンジュ・キャンパック・ベトナム

「キャンパックアクアブルー」は、良質の水に恵まれた工場を持つ同社のメリットから、品質と潤いを表しています。



OS MACHINERY



NIHON CANPACK



HOKKAI CAN

インドネシアにおいて合併会社設立

近年、インドネシアでは、経済成長や人口増加に伴う消費拡大が顕著となっており、中間層の拡大と都市化の進展とともに消費者ニーズも多様化し、飲料市場も著しい成長が見られます。

このような中、ホッカンホールディングス株式会社と豊田通商株式会社は、今後拡大が見込まれる清涼飲料市場の開拓を目指し、新会社を設立いたしました。

新会社では、ペットボトル製造設備から無菌方式の充填設備までを備え、製造能力は、年間500万ケース(1億2千万本)となります。無菌方式により、高品質で軽量の製品の製造が可能となります。



(完成予想図)

新会社概要

会社名	PT. HOKKAN INDONESIA (ピーティ ホッカン インドネシア)
所在地	インドネシア共和国 西ジャワ州 ボゴール県
設立	2011年7月
操業開始時期	2012年5月(予定)
出資比率	ホッカンHDグループ 70% 豊田通商グループ 30%
事業内容	清涼飲料用容器製造および受託充填事業



Financial Data

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2011年9月30日現在	前期 2011年3月31日現在	科目	当第2四半期 2011年9月30日現在	前期 2011年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	53,577	43,710	流動負債	57,166	49,084
現金及び預金	3,751	3,968	買掛金	30,658	27,682
受取手形及び売掛金	31,574	23,429	短期借入金	17,905	13,205
電子記録債権	4,845	4,031	リース債務	265	345
たな卸資産	9,495	9,105	賞与引当金	730	723
繰延税金資産	779	844	災害損失引当金	71	400
その他	3,153	2,361	その他	7,533	6,726
貸倒引当金	△22	△29	固定負債	34,316	35,942
固定資産	80,463	80,687	長期借入金	29,911	32,163
有形固定資産	62,947	63,919	リース債務	799	583
建物及び構築物	21,038	21,130	繰延税金負債	81	50
機械装置及び運搬具	21,939	21,024	退職給付引当金	2,606	2,426
土地	16,397	15,873	その他	917	718
リース資産	862	729	負債合計	91,482	85,026
建設仮勘定	2,304	4,795	純資産の部		
その他	404	365	株主資本	40,111	38,006
無形固定資産	771	869	資本金	11,086	11,086
投資その他の資産	16,744	15,897	資本剰余金	10,750	10,750
投資有価証券	13,462	13,140	利益剰余金	18,297	16,192
繰延税金資産	892	664	自己株式	△23	△22
その他	2,465	2,170	その他の包括利益累計額	△62	220
貸倒引当金	△76	△77	他有価証券評価差額金	205	214
資産合計	134,041	124,398	繰延ヘッジ損益	△27	6
			為替換算調整勘定	△240	—
			少数株主持分	2,510	1,144
			純資産合計	42,558	39,371
			負債純資産合計	134,041	124,398

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
売上高	91,568	89,866
売上原価	81,015	79,408
売上総利益	10,553	10,458
販売費及び一般管理費	6,705	6,411
営業利益	3,847	4,046
営業外収益	861	867
営業外費用	403	384
経常利益	4,305	4,529
特別利益	94	34
特別損失	324	1,227
税金等調整前四半期純利益	4,075	3,336
法人税・住民税及び事業税	1,514	1,328
法人税等調整額	△100	△179
少数株主損益調整前四半期純利益	2,660	2,187
少数株主利益	310	224
四半期純利益	2,350	1,962

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

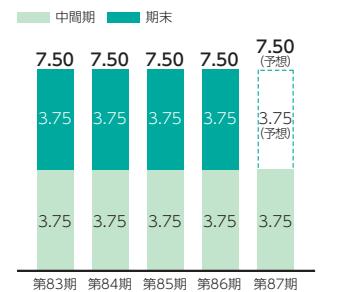
(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,106	8,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,266	△5,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,275	△4,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	△332	—
現金及び現金同等物の増減額	△217	△429
現金及び現金同等物の期首残高	3,968	1,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,751	1,370

利益分配に関する基本方針

当社は、剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項について、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議により定めることができる旨を定款に定めております。剰余金の配当につきましては、将来の事業展開と経営体制の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定した配当をおこなうことを基本方針としております。

1株当たり配当金 (単位:円)



Company Data

会社概要

会社概要 (2011年9月30日現在)

商号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
本社設立	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号 丸の内三井ビル TEL03-3213-5111 1950(昭和25)年2月1日(創立 1921(大正10)年10月23日)
資本金	110億8,652万4,995円
従業員数	24名
事業内容	(1)各種空罐、容器の製造販売 (2)清涼飲料水・酒類その他各種飲料の受託充填及び販売 (3)各種機械の製造販売 (4)機械器具設置工事業 (5)倉庫業 (6)土木・建築工事の設計、施工請負

役員 (2011年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	永井勝己
取締役社長 (代表取締役)	工藤常史
専務取締役	田村秀行
取締役	木村修二
取締役	山崎節昌
取締役	池田孝資
取締役	小池明夫
常勤監査役	大塩恭介
監査役	寺嶋勉
監査役	増田嘉一郎
監査役	新名孝信



Stock Information

株式の状況

株式の状況 (2011年9月30日現在)

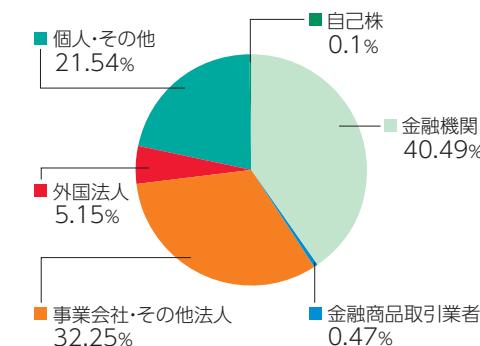
発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	67,346,935株
株主数	4,946名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社トーモク	5,926	8.81
日本生命保険相互会社	3,274	4.87
株式会社みずほコーポレート銀行	3,273	4.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,145	4.67
ホッカンホールディングスグループ取引先持株会	2,540	3.78
株式会社メタルワン	2,267	3.37
農林中央金庫	2,000	2.97
東京海上日動火災保険株式会社	1,805	2.68
株式会社北海道銀行	1,765	2.62
JFEスチール株式会社	1,565	2.33

(注)持株比率は自己株式(67,805株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



ホームページのご案内

ホームページアドレス

<http://www.hokkanholdings.co.jp/>

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、当社の事業活動や動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも、是非アクセスしてください。